



チーム演技

01 竹園高等学校(茨城県)

初出場

■演技タイトル/
人魚姫

■演技内容/歌唱・演劇 ■メンバー人数/10人

▼動画はこちら



03 久米田高等学校(大阪府)

初出場

■演技タイトル/
絆 ～Never Give Up～

■演技内容/ダンス ■メンバー人数/20人

▼動画はこちら



※ 02 栃木県立聾学校は、参加が困難となり欠場



チーム演技

04 松山聾学校(愛媛県)

5回目

■演技タイトル/
もうひとつの「私たちの“ことば”」

■演技内容/演劇 ■メンバー人数/7人

▼動画はこちら



05 大宮ろう学園(埼玉県)

2回目

■演技タイトル/
隣のろう者

■演技内容/演劇・ボエム ■メンバー人数/5人

▼動画はこちら





さい び へい せい ちゅう とう きょう いく げっ こう
06 済美平成中等教育学校(愛媛県)

初出場

■演技タイトル/
もう一つの桃太郎

■演技内容/演劇 ■メンバー人数/7人

▼動画はこちら



あき た けん りつ ちよう かく し えん げっ こう
07 秋田県立聴覚支援学校(秋田県)

初出場

■演技タイトル/
秋田県民歌

■演技内容/歌唱・寸劇 ■メンバー人数/5人

▼動画はこちら





チーム演技

08 鳥取聾学校(鳥取県)

7回目

演技タイトル／

過去と現在、そしてこれから ～コミュニケーションの见えない壁～

演技内容／演劇 ■メンバー人数／7人

▼動画はこちら



09 田鶴浜高等学校・石川県立ろう学校(石川県)

10回目

初出場

演技タイトル／

石川の四季

演技内容／ボエム ■メンバー人数／18人

▼動画はこちら





10 杏和高等学校(愛知県)

6回目

■演技タイトル/
雨ニモマケズ

■演技内容/ボエム ■メンバー人数/9人

▼動画はこちら



11 奈良県立ろう学校(奈良県)

10回目

■演技タイトル/
私たちの物語

■演技内容/演劇 ■メンバー人数/5人

▼動画はこちら





チーム演技

12 熊本聾学校(熊本県)

9回目

演技タイトル/
落語「附子」

演技内容/落語 ■メンバー人数/3人

▼動画はこちら



13 明誠学院高等学校(岡山県)

3回目

演技タイトル/
やさしい心が一番大切だよ ～世界中が笑顔で溢れる～

演技内容/歌唱・演劇・楽器演奏 ■メンバー人数/20人

▼動画はこちら





14 さかど 坂戸ろう学園 がくえん (埼玉県)

4回目

■演技タイトル/
結を紡ぐ海～未来に～

■演技内容/演劇・ポエム ■メンバー人数/6人

▼動画はこちら



15 あおもり 青森聾学校 がっこう (青森県)

3回目

■演技タイトル/
尊い

■演技内容/ダンス・漫才 ■メンバー人数/3人

▼動画はこちら





ゲストパフォーマンス

ゲストパフォーマンス

しゅわ ●手話チャレキッズ

出演：鳥取野学校小学部・鳥取市立宮ノ下小学校 講師：南 瑞霞・高木 里華
動画で楽しく手話を学ぶ鳥取県版児童用手話検定「手話チャレ」に取り組む児童と講師による手話パフォーマンスを披露しました。

▼動画はこちら



しゅわ しゅわ なかま ●手話のWA ダンスでつながる手話の仲間プロジェクト

出演：境港総合技術高等学校・鳥取市立醇風小学校 講師：北村 仁
鳥取県内の幼児児童生徒による手話ダンス動画制作プロジェクトの集大成として、動画上映およびステージで手話パフォーマンスを披露しました。

▼動画はこちら



かんこく せん す じょし こうとう がっこう しゅわ ●韓国・聖修女子高等学校の手話パフォーマンス

鳥取県と友好協定を結ぶ韓国江原特別自治道の高校生によるパフォーマンスを披露しました。

▼動画はこちら





たい かい こう しき
大会公式ソング

たい かい こう しき
大会公式ソング

ぜん こん こう せい しゅう わ こう し せん こう しき
● 全国高校生手話パフォーマンス甲子園公式ソング
あん ど ほん ど さい じん
ハジ→ & HANDSIGN 「シュワシュワ。」



開会式にオープニングアクトとして、ハジ→・HANDSIGNが公式ソングを披露しました。

■作詞:TATSU-SHINGO・草川瞬 ■作曲:草川瞬・KAY ■編曲:KAY

YOYOYO

シュワシュワ♪ 輝ける瞬間♪
ヒューマンウーマン 僕らはみんな
ONE for ALL yeah!!!
ALL for ONE One!!!
We can do Hey 僕らはスーパーマン!!!
Yo yo yo
We can do Hey 僕らはスーパースター!!!!

生まれながらに持ち合わせた君であるという才能 (yeah)
つまり僕らは十人十色千差万別の才能 (OH)
神から与えられてる君も僕も愛されてる
そして僕らは自分を選んで生まれてきている (That's right)

もしそうならこんな自分選択しなかったとか言う君は
信じちゃうのかい? ネガティブな思考から来る発想
まずはその考え方を洗濯する必要ありと先生は言うだろう
ポジティブな教師のティーチャー 我々の隣に♪

H・A・N・D・S・I・G・N × ハジ→めよう♪

YOYOYOYOYOYO

シュワシュワ♪ 輝ける瞬間♪
ヒューマンウーマン 僕らはみんな
ONE for ALL yeah!!!
ALL for ONE One!!!
We can do Hey 僕らはスーパーマン!!!
Yo yo yo
We can do Hey 僕らはスーパースター!!!!

everything's gonna be all right ♪

来たるピンチはいつでもチャンスの前の前兆 (前兆♪)

ならば乗り越えなきゃ Oh NO (この先にある栄光 (ナイスキャッチ♪)
その手に掴めることは決まってるんだから エンジョイ (エンジョイ♪)
きっとハッピーエンドが笑顔で僕らを作ってる (That's right)

妄想でもいい 想像でもいい 思い込みの力は超強い
そうなると思えることで叫ぶ可能性上がるなら アンサーは
出ているすでに見えている結果 オライってか 結果万々歳
シュワッと甲子園総合優勝タイトルを総なめ 樹上げ感謝祭

H・A・N・D・S・I・G・N で ハジけよう♪

YOYOYOYOYOYO

シュワシュワ♪ はみ出る瞬間♪
春夏秋冬 僕らの友情
ONE for ALL yeah!!!
ALL for ONE One!!!
We can do Hey 僕らはスーパーマン!!!
Yo yo yo
We can do Hey 僕らはスーパースター!!!!

everything's gonna be all right ♪

こうやってつながっていることが
誰だって嬉しいよ
寄り添い合って生きている僕たちは

シュワシュワ♪ 輝ける瞬間♪
ヒューマンウーマン 僕らはみんな
ONE for ALL yeah!!!
ALL for ONE One!!!
We can do Hey 僕らはスーパーマン!!!
Yo yo yo
We can do Hey 僕らはスーパースター!!!!

公式動画サイト
シュワシュワ.AV





バリアフリー対策

障がいのあるなしに関わらず、誰もが楽しめる大会とするため様々なバリアフリー対策を行いました。

●LEDモニター

ステージの様子について情報保障を行うため、広い会場のどの席からも見やすくなるよう手話通訳・要約筆記・ライブ映像の3つの要素を1つの画面で表示できるLEDモニターを設置しました。



●手話通訳者

総合案内、入場口に手話通訳者を常駐配置しました。

●ハートフル席

観客席前方にハートフル席(約30席)を設置し、車椅子の方、歩行が大変な方などにご利用いただきました。



●託児・救護室の配置

救護室には、簡易ベッドと看護師を配置。また、託児室には、託児スタッフを配置しました。

●チラシなどへの音声コード添付

チラシ、プログラムなどの配布物に内容を音声で読み取りができる「音声コード」を記載しました。

●無料UDタクシー

JR鳥取駅から会場間を結ぶ無料UDタクシーを運行しました。

●音声ガイド

ステージの様子を実況しながら伝える「音声ガイド」を実施しました。

●YouTubeライブ配信

来場が難しい方も大会を楽しむことができるよう、以下の情報保障を行い、YouTubeでライブ配信を行いました。

・手話通訳・要約筆記の配信

配信画面中に、分かりやすく、見やすいように、手話通訳・要約筆記を表示しました。

・音声ガイド

ステージの様子を実況しながら伝える「音声ガイド」ありなしの2種類を配信を行いました。



会場の催し

会場イベント

●北村 仁ミニステージ



手話のWAの講師 北村 仁のパフォーマンスステージを実施しました。

●ダイアログ・イン・サインショーケース



「音のない世界」の体験会を実施しました。

●エアカフェ



「想像が生み出す飲食」を楽しめる特別なカフェ等を実施しました。

●協賛企業・団体PRコーナー



大会に多大な協賛をいただいた企業・団体様のポスター・チラシ展示などを行うPRブースを設置しました。

●高校生販売コーナー



地元鳥取県の高校生(倉吉農業高等学校)による実習製品などの販売を行いました。

●鳥取県聴覚障害者協会コーナー

●ミニ手話体験教室



手話や独手話を学べる教室を開催しました。

●デフリンピック応援ブース



デフリンピック東京大会を盛り上げるため、メダル等の展示を行いました。

●手話パフォーマンス甲子園回顧展



第1回大会からの優勝チームを振り返るポスター展示を行いました。

●あいサポートマルシェ



障がい福祉サービス事業所12店舗が出店し、飲食物などの販売を行いました。

●キッチンカー

手話で注文するとドリンクが無料になるキッチンカーを設置しました。(協力:すなは珈琲)

●ICT機器紹介コーナー



最新機器が実際に体験できるコーナーを設けました。

●鳥取聾学校写真展



鳥取聾学校が撮影した写真を展示しました。

●出場チームPRコーナー



出場チームの学校パンフレット等の展示を行いました。

●手話パフォーマンス甲子園公式グッズ販売コーナー



大会の記念に公式グッズの製作・販売を行いました。

物販イベント



閉会式

しんさ いんさうこうりょう

審査員長講評

しょうざい たか し

審査員長 庄崎 隆志



本大会受賞されたチームの皆さま本当におめでとうございます。本当に感動的なパフォーマンスでした。また、日本初の鳥取県手話言語条例制定10周年記念本当におめでとうございます。ここ鳥取県は輝く手話の聖地として発展を遂げられた。これは、平井鳥取県知事をはじめ鳥取県の皆様情熱によるもの。本当に感銘いたします。心から感謝申し上げます。

さて14チームの皆さん、このパフォーマンス本当に楽しく見させていただきました。ありがとうございました。

それでは、ここからは私の方から講評をさせていただきますが、時間の制約がありますので優勝チームのみご紹介させていただきます。

熊本聾学校の皆さま、過去にも優勝を経験されているチームです。実力のあるチームです。まず、元気いっぱい幕開けすごくパワフルでした。ワクワクさせられる、そしてテンポの良い展開、手話遊びのような言葉遊び、ユーモラスあふれる手話落語もとても軽快でした。元気をいただきました。本当にありがとうございます。熊本に帰ったら、皆さんに報告してくださいね。

そしてこの14チームに限らず、予選に応募してくださった69チーム、すべて素晴らしいパフォーマンスでした。とてもレベルの高い内容でした。年々レベルが上がっているのを実感しています。そして、クオリティも向上しています。本当に私たちにとっても厳しい審査でした。

手話言語の魅力や世界は、本当に奥深くあります。手話言語の魅力は、深く深く幅広いものがあります。ぜひ今後も手話言語との交流を続けていきたいと思います。これからの皆さまの人生につなげていただけたらと思います。どうぞ、よろしく願っています。

最後になりますが、10回目の全国高校生手話パフォーマンス甲子園に向けてご準備くださいました鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会、全日本ろうあ連盟、日本財団、関係各位の皆さまのご尽力に心より感謝申し上げます。

また来年、より良いパフォーマンス、そして、この甲子園ができるように皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。頑張りましょう。

以上です。おめでとうございました。ありがとうございました。